

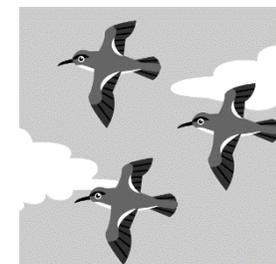
～同推だより～

出 会 い

【編集】
散岐地区同和教育推進協議会

【発行日】
令和6（2024）年9月25日
《第33号》

わりなくして生きることができない。マイナスの出会い、プラスの出会い、…そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。」です。



同和問題を語るうえでイメージされている「暗い・重い・辛い」を「明るい・軽い・楽しい」イメージに変えるDVDですので、多くの方に視聴していただきたいと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

小地域座談会へのご参加を



～同和問題をテーマに～

散岐地区同和教育推進協議会
会長 野際 章人

今年も各集落で小地域座談会を実施するよう準備を進めています。

まず、10月10日（木）19時より散岐地区公民館で、部落長さん、対話者の方々、同推協の役員で打合せを行ったうえで、11月に各部落での小地域座談会を開催する予定としています。

扱うテーマは、同和問題でDVD「部落の心を伝えたいシリーズ第27巻 出会いから学ぶ しなやかな新世代・高田美樹」を視聴して、皆様と理解を深めていきたいと思います。

今回のDVDの内容について、一部紹介します。

鳥取県西部の同和地区にお住まいの高田美樹さんは、高校での生涯の仲間との出会いや、母方の祖母との18年目の出会い直し、働く現場でのさまざまな差別を実体験していますが、それらを全て養分に転換し、しなやかに生きていらっしやいます。

同和問題は、現在、普段の生活の中で実感する

ことは少なくなっていますが、就職・結婚時の身元調査やインターネットによる投稿等で表出しているのが現実であり、決して目をそらしてはいけない国民的課題です。

高田さんの生き方の真骨頂は、「人は人との関

◆ 令和6年度 散岐地区同和教育推進協議会役員・評議員名簿 ◆

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会 長	野際 章人	評議員	下田 和実	評議員	村上 啓三	評議員	岡山 毅
副会長	中村 晃	//	山田 和志	//	下田 顕久	//	竹内 由明
//	前田 和美	//	倉持 久男	//	山本 真裕美	監 事	前田 晋
推進員	坂根 和夫	//	大門 康裕	//	国本 政彦	//	山田 勝好
//	前田 武志	//	蔦尾 奈穂子	//	中村 晃	幹 事	北川 眞澄
//	小川 孝	//	浦田 文久	//	倉持 範幸		
		//	山田 はるか	//	金谷 達美		(25名)

人権尊重都市の実現を目指して

「鳥取市人権施策基本方針」第3次改訂

鳥取市は、社会情勢の変化や様々な人権に関する法整備の進展等を反映させるため、「人権施策基本方針」の第3次改訂を行いました。

この基本方針は、本市の人権施策の基本的な考え方や方向性を示すものであり、人権尊重の視点に立った施策を推進していく指針となるものです。

差別や偏見のない社会の実現を目指して、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

基本的施策

■人権擁護の推進

- 当事者に寄り添った個別的・包括的・継続的な相談支援。
- 県や警察、法務局等との密接な連携や適切役割分担による総合的な支援体制を強化。

■人権意識の高揚を図る取組

- 「学校人権教育推進プラン」に基づく取組の推進。
- 人権啓発を推進する人材の育成。

■地域共生社会に向けた取組

- 社会的孤立・孤独の解消に対応するため、官民連携プラットフォームの充実、生きづらさを感じる人を支える人材「つながりサポーター」の養成及び多機関で協働する「相談支援包括化推進会議」による個別支援。

人権問題への取組

■同和問題（部落差別）

- 部落差別解決に向けて、地域や市民団体、企業、県、法務局等と連携し、教育・啓発を推進。

■男女共同参画に関する人権問題

- 地域や職場における女性の活躍を推進するよう、ワーク・ライフ・バランスの取組や政策決定への女性の参画の推進。

■障害のある人の人権問題

- 障がいへの理解や社会モデルの考え方の普及とともに、不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供。

■子どもの人権問題

- 児童虐待の未然防止や早期発見、ヤングケアラーの把握を進めるため、相談窓口の充実・情報提供を図るとともに、学校や関係機関と連携した支援を実施。

■高齢者の人権問題

- 認知症に関する正しい理解や認識を深め、地域共生社会の実現を図る。

■外国人の人権問題

- 教育・啓発を推進し、多文化共生社会の実現を目指す。

■病気に関わる人の人権問題

- 病気に関する偏見や差別が生まれないよう、市民への情報提供を正確・迅速に行うとともに相談を受け付ける。

■個人のプライバシーの保護

- 個人のプライバシー保護に関する知識の向上や人権意識を高めるための教育・啓発を推進。

■アイヌの人々の人権問題

- アイヌの歴史や文化に対する理解と認識を深めるとともに、偏見や差別の解消を目指す。

■刑を終えて出所した人の人権問題

- 罪を犯した人が孤立することなく、再び社会を構成する一員となれる地域づくりを目指す。

■犯罪被害者やその家族又は遺族の人権問題

- 犯罪被害者等を社会全体で支援していく意識の醸成と二次的被害の発生を防止するための啓発。

■性的マイノリティ（少数者）の人権問題

- 当事者の生きづらさや悩みを相談できる相談窓口や当事者同士の交流が図れるコミュニティスペース、居場所を創るとともにその周知を図り、性の多様性に対応した施策の推進。

■ハラスメント（職場における）に関する人権問題

- ハラスメント防止について、企業・団体等へ継続的な働きかけをし、正しい認識の普及啓発に取り組む。

■生活困窮者の人権問題

- 行政だけでは解決できない孤独・孤立問題を把握し、支援を必要とする円滑に支援できるよう官民連携で取り組む。

■インターネットにおける人権問題

- 正しく安全な利用方法や犯罪等に巻き込まれた時の対処方法等について、啓発を推進。

■災害時における人権問題

- 様々な媒体を利用し情報提供を行うとともに、安全・安心な避難ができるよう体制の整備に努める。

■自死にかかわる人の人権問題

- 心の健康に関心を持ち、自死の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図るゲートキーパーの養成を図る。



